

2025年4・5月受入

# 新着図書のご案内

姫路市立城郭研究室



「大坂城再築」

大阪城天守閣

「上杉家の御殿 城・藩邸・伯爵邸」

米沢市立上杉博物館

「熊本城調査研究センター年報 10

令和5年度」

熊本市熊本城調査研究センター

「姫路歩兵第十連隊の足跡」

藤原龍雄

播磨歴史ネットの会

「Quiz Knock と巡る江戸東京博物館展」

東映株式会社

「旧小峰城太鼓櫓移築修復工事報告書」

白河市

「姫路丸鬻り 郷土と歴史」

津田信行

「中世後期三河吉良氏の研究」

小林輝久彦

岩田書院

「松江藩松平家 藩主と家老」

玉木勲/編

ハーベスト出版

「中世武家拠点の研究」

仁木宏/編

高志書院



「研究紀要 元離宮二条城 第4号」

京都市元離宮二条城事務所

「戦後日本の博覧会」

吹田市立博物館

「『安土山屏風』研究の最前線」

滋賀県文化スポーツ部文化財保護課

「大和郡山市文化財調査年報

令和5年度」

大和郡山市



「大坂城代記録（九）」

大阪城天守閣

「文建協通信 158」

文化財建造物保存技術協会



## 今月のおすすめ本紹介！！



### 「名古屋城・天守木造復元の落とし穴」

毛利和雄 著

名古屋城では、天守の木造復元に向けた取り組みが進められていますが、いくつかの課題に直面しています。主な課題として、技術的な問題、資金の不足、地域住民との調整などがあり、その解決のため、計画の見直しを繰り返しています。本書では、これらの問題点を詳しく説明しながら、その「落とし穴」とは何か、歴史的建造物を復元する際に見落とせない重要な要素について明らかにしています。

### 「法隆寺建築の設計技術」

溝口明則 著

世界最古の木造建築群である法隆寺は、建築史において注目の的であり、意匠や様式、技術などの様々な側面から研究が進められています。中でも本書は、設計技術に焦点を当てた内容になっています。建築物には必ず設計計画があり、計画の基準に何をを用いるか、そこには時代ごとの変遷があります。内容はかなり専門的ですが、法隆寺建築の設計計画に関して、これまでの研究を簡潔に紹介しており、新しい知見が得られることは間違いありません。

- ※ 上記の図書は、日本城郭研究センター2階 城郭資料特別閲覧室にて閲覧していただけます。
- ※ 貸し出しはしていません。
- ※ 開室時間は、月曜日から金曜日 9：00～12：00 13：00～17：00
- ※ 土、日曜日・休日・年末年始は閉室しています。
- ※ 上記の図書以外にも姫路城や姫路の歴史に関する蔵書など貴重な書物をたくさん収蔵していますので、興味のある方は、是非お越しください。
- ※ 城郭研究室への問い合わせ先及びホームページは、下記のとおり。



姫路市立城郭研究室（日本城郭研究センター2階）

TEL 079 (289) 4877

URL <http://www.city.himeji.lg.jp/jyokakuken>